

① 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況一覧（令和5年度）

資料1

地域公共交通網形成の基本方針	施策体系	令和5年度の取組予定	令和5年度の取組（実績見込み）
(1) まちづくりと広域連携を支える公共交通体系の整備	①鉄道の利便性向上の促進	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に要望を提出	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に要望を提出(11月) <b>資料1-1</b>
	②バスの公共交通軸の整備・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海大学前駅南口ロータリー内の新たな乗降場所確保に向けて、関係者間で協議</li> <li>・既存バス路線の再編により、平塚駅から東海大学前駅を結ぶ路線の開設を検討</li> <li>・国道129号へ公共交通優先信号の必要性について、大型商業施設開業後の交通渋滞の状況を確認し、関係機関と検討</li> <li>・連節バスの導入に向けた関係機関との協議・調整</li> </ul>	<p>東海大学前駅を拠点とした新たなバス路線の開設に向けた関係機関との協議・調整を実施。秦野市と5月、11月、2月に打ち合わせを実施し、東海大学前駅南口ロータリーにおけるバス乗降場増設等を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年4月25日にトランジットセンター（ツインシティ大神バス停）が新設され、平塚駅北口～ツインシティ大神～本厚木駅南口（新道経由）が新設</li> <li>・旧道経由の既存バス路線についても一部がツインシティ大神バス停へ乗入れ。</li> <li>・旧道～ツインシティ大神バス停間の大神43号線について、大型車通行禁止規制（路線バスを除く）を実施(2月)</li> <li>・定期的に国道129号の交通状況を確認（目立った渋滞は無し）</li> </ul>
(2) 公共交通が不便な地域への対応	①地域内交通の整備	<p>&lt;公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き&gt; 自治会定例会にて周知</p> <p>神田地区、大野地区、平塚地区、海岸地区</p>	<p>&lt;公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き&gt; <b>資料1-2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神田地区、大野地区、平塚地区、海岸地区の自治会定例会等で説明を実施し、市内全地域で説明を完了した。 <b>資料1-3</b></li> <li>・グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通を視察(1月)し、先進事例を研究 <b>資料1-4</b></li> </ul>
		<p>&lt;神奈川大学移転関連&gt;</p> <p>地区内の路線バス利用に係る自治会ヒアリング及び利用促進について意見交換(四半期に一回程度)</p>	<p>&lt;神奈川大学移転関連&gt; <b>資料1-5、資料1-6</b></p> <p>土沢地区の自治会と路線バスの利用促進や地域内交通等について意見交換(6月、9月、1月)したほか、利用促進を図るため路線バスの時刻表や割引制度を記載した回覧を各戸配布(8月)</p>
	(参考)	<p>&lt;地域内移送&gt;</p> <p>実施団体及び検討中の団体を引き続き支援</p>	<p>&lt;地域内移送&gt; <b>資料1-7</b></p> <p>実施団体及び検討中の団体を引き続き支援</p>

地域公共交通網形成の基本方針	施策体系	令和5年度の取組予定	令和5年度の取組（実績見込み）
(3) 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	①バリアフリー化の推進	ノンステップバス導入:令和4年度から令和7年度にかけて6両 ユニバーサルデザインタクシー導入:9台	ノンステップバス導入:2両 ユニバーサルデザインタクシー導入:4台
	②交通結節点の整備	<p>&lt;バス停の待合環境の改善&gt; 市内バス停の上屋整備に向けて、交通事業者及び広告事業者と連携・協議</p> <p>&lt;サイクル&amp;バスライド施設の整備&gt; ・「柳の内」バス停へのサイクル&amp;バスライド設置 ・「豊田本郷駅」バス停へのサイクル&amp;バスライド設置に向けた調整のほか、適宜、サイクル&amp;バスライドの適地を選定</p>	<p>&lt;バス停の待合環境の改善&gt; ・市内バス停(候補地:コンフォール平塚前)の上屋整備に向けて、交通事業者及び広告事業者と調整中 ・ラッシュ時等にバス利用者が視覚障がい者誘導用ブロック上に列を作らないよう、平塚駅北口バス乗り場整列ラインの整備について、交通事業者と検討中</p> <p>&lt;サイクル&amp;バスライド施設の整備&gt; 「柳の内」バス停へのサイクル&amp;バスライドを7月10日に設置</p>
(4) 自家用車依存からの転換と公共交通の利用促進	①利用促進事業	<p>&lt;公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き&gt; 自治会定例会にて周知(再掲) (神田地区、大野地区、平塚地区、海岸地区)</p>	<p>&lt;公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き&gt; (再掲) ・神田地区、大野地区、海岸地区、平塚地区の自治会定例会等で説明を実施し、市内全地域で説明を完了した。 ・グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通を視察(1月)し、先進事例を研究</p> <p>&lt;その他&gt; <b>資料1-8</b> ・田村地区、真土地区の一部へ平157系統(国道129号経由の急行便)利用促進を図るため路線バスの時刻表や割引制度を記載したチラシを回覧 ・土沢地区へ利用促進を図るため路線バスの時刻表や割引制度を記載した回覧を各戸配布(再掲)</p>

## ②平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況一覧（令和6年度の取組予定）

地域公共交通網形成の基本方針	施策体系	令和6年度の取組予定
(1) まちづくりと 広域連携を 支える公共 交通体系の 整備	①鉄道の利便性向上の促進	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に要望を提出
	②バスの公共交通軸の整備・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海大学前駅南口ロータリー内の新たな乗降場所確保に向けて、関係機関との協議・調整を実施</li> <li>・既存バス路線の再編により、平塚駅から東海大学前駅を結ぶ路線の開設を検討</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連節バス等の導入を検討</li> </ul>
(2) 公共交通の 利用が不便 な地域への 対応	①地域内交通の整備	<p>&lt;公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手引き説明会で出た意見をまとめ、施策への反映を検討</li> <li>・地域主体交通の導入可能性など、地域の実情に合った交通について地域と検討</li> </ul>
	(参考)	<p>&lt;神奈川大学移転関連&gt;</p> <p>土沢地区の自治会と路線バスの利用促進や地域内交通等について意見交換（四半期に一回程度）</p>
		<p>&lt;地域内移送の実施状況&gt;</p> <p>須賀新田地区（松原地区）、土屋地区、旭南地区</p>
(3) 誰もが利用 しやすい公 共交通環境 の整備	①バリアフリー化の推進	<p>ノンステップバス（EV車両）：5両導入予定</p> <p>ユニバーサルデザインタクシー：引き続き導入予定（令和6年4月の平塚市バリアフリー推進協議会にて導入台数を決定）</p>
	②交通結節点の整備	<p>&lt;バス停の待合環境の改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内バス停の上屋整備に向けて、交通事業者及び広告事業者と連携・協議を行う。</li> <li>・交通結節点となるバス停付近へ、民間施設等を活用した待合環境の検討を行う。</li> </ul>
		<p>&lt;サイクル&amp;バスライド施設の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き公共用地等を活用し、適地へサイクル&amp;バスライド駐輪場を開設する。</li> </ul>

地域公共交通 網形成の基本 方針	施策体系	令和6年度の取組予定
(4) 自家用車依 存からの転 換と公共交 通の利用促 進	①利用促進事業	<p>&lt;公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き&gt;（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手引き説明会で出た意見をまとめ、施策への反映を検討</li> <li>・地域主体交通の導入可能性など、地域の実情に合った交通について地域と検討</li> </ul>
		<p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用促進に向けたチラシ等を作成</li> </ul>

## ③平塚市地域公共交通網形成計画 評価指標の状況 (74 ページ記載の内容に現在の実績値を追記)

施策体系・施策メニュー	評価指標	計画策定時の調査時点	目標	最新の実績値
(1)①鉄道の利便性向上の促進 ・既存路線の利便性向上の促進 ・鉄道駅の新設・延伸の促進	JR 平塚駅の利用の促進 ※1日あたりの乗車人員 ※JR 東日本 HP(各駅の乗車人員) ※将来の人口減少の比率を考慮する	約 62,000 人/日 (平成 29 年)	現状維持	52,275 人 (令和 4 年) ※出典：JR 東日本 HP 各駅の乗車人員 2022 年度 ベスト 100
(1)②バスの公共交通軸の整備・強化 ・幹線バスの整備・強化 ・南北都市軸の新公共交通システムの整備	路線バスの利用割合 ※PT 調査(交通手段分担率) ※平塚市におけるバスの移動が対象	約 2.9% (平成 20 年) 東京都市圏パーソントリップ調査(平成 20 年)	現状から増加	約 4.7% (平成 30 年) 東京都市圏パーソントリップ調査(平成 30 年)
(1)②バスの公共交通軸の整備・強化 ・走行環境の向上	路線バスの旅行時間 ※路線バスの移動時間調査 ※厚木方面(平 53)、伊勢原方面(平 90)、秦野方面(平 71)	平塚駅着(7時, 17時) ・平 53(約 48 分, 約 45 分) ・平 90(約 37 分, 約 30 分) ・平 71(約 62 分, 約 66 分) 平塚駅発(7時, 17時) ・平 53(約 54 分, 約 61 分) ・平 90(約 40 分, 約 26 分) ・平 71(約 53 分, 約 68 分) (平成 21 年)	現状から短縮	変化なし ※平塚駅北口～ツインシティ大神～本厚木駅南口の急行便(平 157 系統)開設
(2)①地域内交通の整備 ・既存路線バスの確保・維持、改善 ・路線バス以外の地域内移動手段の確保	交通の利便性の向上に対する満足度 ※平塚市市民意識調査	評価点-0.02% (平成 30 年)	現状から向上	評価点-0.01% (令和 4 年) ※出典：令和 4 年度平塚市市民意識調査 p.48。5 段階評価で、十分満足 2 点、満足：1 点、普通：0 点、あまり満足していない：-1 点、満足していない：-2 点で計算

施策体系・施策メニュー	評価指標	計画策定時の調査時点	目標		最新の実績値
<p>(3) ①バリアフリー化の推進</p> <p>・新規車両の導入</p>	<p>ノンステップバスの導入台数</p> <p>※平塚市バリアフリー基本構想の実施事業</p> <p>※「平塚市バリアフリー基本構想」の実施事業に関する評価指標の目標値は、今後、「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画の目標年次及び目標値が変更された場合に、その変更後の目標値を準用する。</p>	<p>96 両/163 両</p> <p>(平成 29 年)</p>	<p>115 両/163 両</p> <p>(令和 2 年度)</p> <p>本計画策定時の目標値。平塚営業所の在籍車両の約 70%に導入した場合の両数</p>	<p>128 両/160 両</p> <p>(令和 7 年度)</p> <p>平塚営業所の在籍車両の約 80%に導入した場合の両数</p>	<p>125 両/160 両</p> <p>(令和 5 年度末)</p> <p>平塚営業所在籍車両の約 78%</p>
	<p>UD タクシーの導入台数</p> <p>※平塚市バリアフリー基本構想の実施事業</p> <p>※「平塚市バリアフリー基本構想」の実施事業に関する評価指標の目標値は、今後、「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画の目標年次及び目標値が変更された場合に、その変更後の目標値を準用する。</p>	<p>13 台</p> <p>(平成 29 年)</p>	<p>29 台</p> <p>(令和 2 年度)</p> <p>本計画策定時の目標値。国の導入目標台数を元に設定した台数</p>	<p>62 台/245 台</p> <p>(令和 7 年度)</p> <p>国の導入目標の改正により、県内の導入率が約 25%とされたことから、平塚市内の在籍車両に本割合を当てはめた台数</p>	<p>35 台/245 台</p> <p>(令和 5 年度末)</p> <p>平塚市内の在籍台数の約 14%</p>

施策体系・施策メニュー	評価指標	計画策定時の調査時点	目標	最新の実績値
(3) ②交通結節点の整備 ・バス停の待合環境改善 ・サイクル&バスライド施設の整備	主要バス停上屋の設置箇所数 ※平塚市バリアフリー基本構想の実施事業 ※「平塚市バリアフリー基本構想」の実施事業に関する評価指標の目標値は、今後、「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画の目標年次及び目標値が変更された場合に、その変更後の目標値を準用する。	84箇所 (平成29年)	86箇所 (令和2年度) ※「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画では令和3年度から令和7年度までに「現状から増加」を目標としている。	86箇所 (令和5年度末) 平塚市、神奈川中央交通、民間等設置分で上り、下りを別々に集計 ※。増加分は、ツインシティ大神バス停(乗車1か所、降車1か所) ※バスロータリーで3つ以上の上屋がある場合、上り、下りで1箇所ずつとカウントしている。
	平塚駅周辺駐輪場の収容台数 ※平塚市行政概要	11,714台 (平成29年)	現状から増加	11,774台 (令和4年度末)
	バス停付近駐輪場の設置箇所 ※平塚市行政概要	8箇所 (平成29年)	現状から増加	13箇所 (令和5年度末) 増加分は、玉川橋、大縄橋、片岡、中沢橋、柳の内の5箇所。このほか神奈川中央交通(株)が田村車庫に設置
(4) ①利用促進事業 ・情報提供の強化 ・地域内移動の利便性向上 ・利用者インセンティブの付与 ・公共交通利用への意識啓発	公共交通の利用割合 ※PT調査(交通手段分担率) ※平塚市における鉄道およびバスの移動が対象	約16.4% (平成20年) 東京都市圏パーソントリップ調査(平成20年)	現状から向上	約21.1% (平成30年) 東京都市圏パーソントリップ調査(平成30年)
	交通の利便性の向上に対する満足度(再掲) ※平塚市市民意識調査 ※(2)①と同様	評価点-0.02% (平成30年)	現状から向上	評価点-0.01% (令和4年) ※金額式IC定期券導入(令和3年※~) ※小児IC運賃50円化(令和5年~)